

平成 28 年度 愛育班員・育成者東海北陸・近畿中国ブロック研修会

(山梨県、岐阜県、福井県、兵庫県、岡山県、島根県)

主催 恩賜財団母子愛育会・山梨県 共催 山梨県愛育連合会

平成 28 年 11 月 29 日 (火) 山梨県甲府市で開催されました。参加者 161 人

恩賜財団母子愛育会では、25 年度から「愛育班員・育成者ブロック研修会」を開催しています。

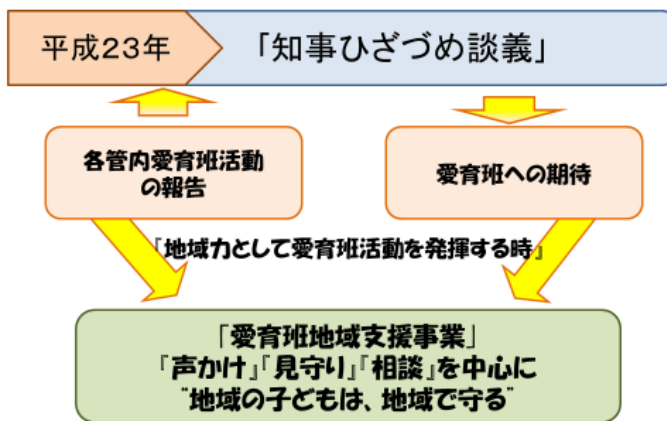
28 年度は全国 6 ブロックの中、3 ブロックで研修会を開催予定でしたが、予定の 2 ブロック（東海北陸ブロック、近畿中国ブロック）を合同で開催いたしました。

当日は、山梨県健康増進課岩佐景一郎課長さんのごあいさつをいただいた後、その後山梨県愛育連合会活動、福井県鯖江市母子愛育会活動紹介、兵庫県洲本市外町地区愛育班活動紹介をしていただきました。

午後は「愛育班活動における地域の健康課題把握とそれにもとづく活動について」と題して大場エミ愛育推進部長が講演を行いました。その後、地区ごとのグループになり、「愛育班活動シート」を活用し愛育班員と育成者が一緒に地域の課題をだし、課題解決のための活動目標と具体的な活動計画をたてました。

山梨県愛育連合会活動紹介

山梨県愛育班地域支援事業を興すにいたった経緯



山梨県愛育連合会では、平成 23 年度に知事と話し合いをもち、その中で、愛育班への期待が多く話されました。その結果、地域力として愛育班活動が重要との事から、県の委託事業である「愛育班地域支援事業」が 24 年度から始まりました。

活動内容として「生命の授業の事業化」「研修会のあり方、各種研修のマニュアル作成」「愛育班活動の課題究明及び対策グループ」の 3 事業を行いました。今回その 3 つの事業の報告があり、だされている課題については、今後検討していくとのことです。

福井県鯖江市愛育会活動紹介

いろいろな場面で健診受診勧奨

- 町内・地区行事の行事、会議
町内会議、クリーンデー、町内の祭り、バーベキュー、消防訓練、ぼかし作り、そば打ち、ゴミブリ固子作り、公民館掃除、社会奉仕、市民体育大会、敬老会など
- 各種団体の行事、会議
婦人会レクリエーション・総会、社年会、子ども会、PTA、子育てネットワーク、スポーツ少年団、中学校文化祭、小学校体育会、市の綱引き大会、保育園など
- 各種サークル、グループ活動
太極拳クラブ、生花、ソフトバレー、老人会サロン、老年大学、いきいき講座、カラオケ教室、見守り隊活動中、ライブ仲間、ファンクラブ、水泳
- 職場
職場のお昼休みに、職場の朝礼の話題、バイト仲間
- その他
愛育たより配布時、ごみ出し時、寺行事、クラス会、美容院、法事など



あかちゃん訪問



しあわせ体操

鯖江市は県下一若くて元気のあるまちで、めがね、繊維、漆器の産業として盛んな市です。鯖江市愛育会は昭和 37 年に発足し現在 442 人の班員が市民の健康づくりを目的に活動しています。活動は地域の声かけ見守り活動を中心に赤ちゃん訪問、健康診査やがん検診の受診勧奨、町内出前健康講座、愛育便り、健康づくりについての話し合いや学習会が主な活動です。「食と健康・福祉フェア」において、市民が生活習慣病予防を目的にしあわせ体操の普及を提案し、文化祭や地区・町内会行事等で体操の普及啓発を行っています。研修会当日も参加者全員でしあわせ体操を行いました。鯖江市愛育会は平成 27 年度に愛育班員全国大会にて総裁表彰を受賞されました。

兵庫県洲本市外町地区愛育班活動紹介



大野愛育班



上灘愛育班



外町愛育班

淡路島の洲本市で愛育班活動を行っているのは、大野愛育班、上灘愛育班、外町愛育班の3地域です。大野地域は働き盛りの男性が多く愛育班活動に参加しています。地域のふれあい祭りでは、声かけ運動の啓発を行いました。上灘愛育班では廃校になった学校を集会場として開放してもらい、月1回集まって、調理自習や体操、健康学習などを行っています。最高齢の103歳の方も参加しています。城下町の面影を残す外町愛育班は、声かけ活動を中心に行い、体調の変化などを早期に把握し、適切な相談や医療に結びつけています。阪神淡路大震災の時も愛育班はお年寄りの家庭へ駆けつけたり、町ぐるみで支えあいました。また、町のイベントである「洲本市レトロな町歩き」に参加して、淡路島洲本市の魅力を他県から参加した人々に伝え、町の活性化に務めています。

講義「愛育班活動における地域の健康課題把握とそれにもとづく活動について」愛育推進部長 大場エミ

愛育班活動シート		平成00年 市 愛育班 班員(人) 保健師()
<p>地域の高齢者課題話し合い0月0日</p> <p>声かけ活動等から出された課題・気になること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の車運転が心配 ・運転ができないと買い物にもいけない ・一人暮らしの男性高齢者の食事が心配 ・詐欺にあいやすい ・引きこもりの老人が心配 ・病院に行くにも足がない ・暗い道を暗い服装で歩いて心配 	<p>今年度の活動目標</p> <p>高齢者が話す機会を多くする</p> <p>具体的活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい喫茶に誘う ・グランドゴルフに誘う ・愛育サロンを開催し、遊びや菓子やコーヒーをふるまう。 ・楽しい企画をし、ポロツト困りごとが出るようにする。 	<p>年度末の評価(話し合い)0月0日</p> <p>引きこもりの人を家まで迎えに行き愛育サロンにさつたら、次回からは一人でも来るようになった。また、愛育サロンで保健師さんが血圧測定をしたら高く、すぐ受診して高血圧の治療をすることができた。</p> <p>保健師の評価・感想</p> <p>地域の課題を出し合い、活動目標を明確にしたことで、愛育班員が活動の意欲が高まった。また、行政の愛育班活動内容を示すことができた。</p>

愛育班活動は「声かけ見守り話し合い」が基本活動です。話し合いは、地域の健康課題を出し合い保健師と共有し、愛育班活動に活かします。しかし、全国的にこの話し合いが十分にされていない実態があります。そこで、愛育班活動シートを作成することで健康課題を話し合い、具体的な活動目標と活動計画をたてます。そのことで、愛育班員自身が活動の意味を明確にでき活動意欲につながると考えました。また、行政にも活動を明確に示すことができます。

グループワーク「地域ごとに愛育班活動シートを活用し地区診断と活動計画づくり」

各県の愛育班員、保健師が地域ごとにグループになり、愛育班活動シートを活用したグループワークをおこないました。まず、グループごとに、高齢者か子どものどちらかを選択し、それぞれ気になる事を全員がポストイットに書き込みます。それを一人ひとりが発表しながら模造紙に貼っていきます。出された同じ内容を囲みタイトルをつけます。高齢者をテーマにしたグループは「高齢者の引きこもりが心配」「高齢者の運転が心配」子どもでは「外で遊ぶ子どもが少ない」などの課題がだされました。いくつかの課題の中から一つ選択し、解決のための活動目標を考えます。「高齢者の引きこもり」が心配とだされたグループは「声かけ・見守り活動の充実」などが提案されました。この活動シートを作成することで、漠然と行っていた活動が明確になるとともに、広く住民や行政に愛育班活動が伝えられます。このシートを毎年活用することで、活動が積み重なり、愛育班活動が活性化すると考えます。